

## 根室空襲から73年… 平和への強い決意 あらたに

根室空襲犠牲者 追悼のつどい

7月15日

根室空襲犠牲者の追悼のつどいが、市内の鳴海公園にある『平和祈念の碑』の前で開催されました。根室空襲研究会とねむろ九条の会の共催で行われたもので、今年で3回目になります。当日はあいにくの悪天候でしたが雨の中、空襲犠牲者のご遺族の方々をはじめとする市民の方など約30名が参列されました。

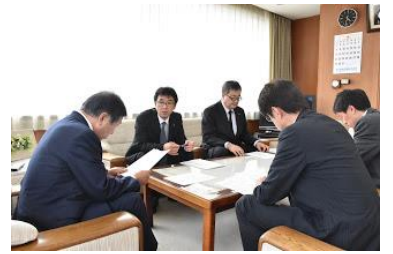
また今回は東裕丸で犠牲となった方のうち、新たにお名前が判明した方のご遺族が宮城県から列席されました。平和祈念の碑に向かい、亡くなられた方への祈りをささげるとともに、平和な時代を守り続けていくことの決意をあらたにしました。



### 米海兵隊のMV22オスプレイ



## 矢臼別演習場等での 日米共同訓練にオスプレイを 使用した訓練を予定か？ → 市長に要請しました



7月19日  
日本共産党根室市委員会と党根室市議会議員団は根室市の長谷川市長へ、日米共同訓練（ノーザンヴァイパー）に関する「要望書」を提出しました。

「北海道で実施される日米共同訓練について、今年には矢臼別演習場でも米海兵隊がオスプレイを使用した訓練を実施する方向で調整している、とのマスコミ報道を受けて、7月10日に「矢臼別平和委員会」が別海町長に要請を行っています。

私たちとしてもそれらの団体と連携しながら、釧根の各自治体・首長に対し要請を行っているものです。

重大な事故率が高まっているとされるオスプレイが近隣自治体の上空を飛行することに対する住民生活や産業への影響、また道東地域でこのような訓練を実施することによって領土問題を抱える日ロ外交にも影響を与えることを懸念します。

日本国憲法が掲げる平和主義、基本的人権、そして地方自治のあり方がいま問われています。

要望内容はオスプレイ訓練をしないよう関係機関に働きかけることや日米共同訓練に関する情報を速やかに公表していくよう求めることなど4項目です。

要請に対して長谷川市長は、「米海兵隊の移転訓練に関する花咲港の陸揚げについては今年度、サンマ漁など最盛期と重なる日程のため、釧路港からの陸揚げの方向で調整していると聞いている。

また要望書のオスプレイなどの訓練への対応は、矢臼別演習場周辺4町と道による矢臼別演習場関係連絡会議の協議内容を尊重し、状況に応じて関係自体と連携し、対応を検討していきたい」等と、答えています。

## 道と根室振興局へ 地域課題を要請

根室管内の党議員団

7月24日

日本共産党釧根地区委員会と日本共産党根室管内地方議員団は、北海道と根室振興局に対して、管内の地域要望書を提出し、振興局の担当課さんと意見交換しました。

要望内容は、領土問題や漁業・酪農、教育、福祉など管内の住民生活に関わる約40項目で、日本共産党として毎年実施しているものです。

また今回の要望会の内容を踏まえて、8月には全道各地の市町村議員があつまって、北海道本庁などで要請活動を行います。

